

西岳地区地域福祉活動計画

西岳1チーム！

お互いさまで、ほっこりにっこり

～ぼちぼちやっみろかい～



水鏡 高千穂

令和8年3月

《西岳地区地域福祉活動計画策定委員会の皆さん》



～できる人からぼちぼちやっみろかい～

西岳地区の皆さま、いつも西岳地区社会福祉協議会の活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。この度、全5回にわたる策定委員会での話し合いを経て、これからの私たちの地域の指針となる「西岳地区地域福祉活動計画」が完成いたしました。策定にあたり、私たちが最も大切にしてきたのは、「一体誰のために、何のためにこの計画をつくるのか」という根本的な問いです。委員一人ひとりがそのプロセスをしっかりと自分の腹の中に落とし込み、何度も考え、意見を交わしながら形にしてきました。

出来上がったこの計画は、もしかしたら誰もが驚くような立派で「すごいもの」ではないかもしれませんが。しかし、話し合いを重ねる中で、西岳が本当にやらなければならないこと、西岳に住む私たちにとって本当に必要なことを見つけ出すことができたと確信しています。

計画は完成しましたが、ここからがいよいよスタートです。焦らず、無理をせずに「ぼちぼちやっみろかい」の精神でやっていきましょう。見つかった大切な取り組みを、皆さまと一緒に、少しずつ、より具体的に前に進めていきたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



西岳地区地域福祉活動計画策定委員会
委員長 野間 登志子

策定委員会の進め方

第1回

西岳地区のたくさんのほっこり、にっこりするエピソードを共感し、投票で決まった3つのエピソードに関してグループで共有しました！



第2回

今回は全部のエピソードを含めて共有！西岳の地域性を表す温かいエピソードがたくさん共有され、策定委員会のたくさんの笑顔で溢れました！



第3回

“西岳にこれから必要なこと”についてみんなで考える会になりました。実際の課題に向き合う時間もあり、真剣に今後に向けて考える会となりました。



第4回

①組織体制②財源③事務局機能④拠点の4つの視点からこれから取り組むことに対して、西岳らしい取組とはなにかを考えました。



第5回

第4回までに出た意見を反映した計画シートを出席委員全員で一つ一つ確認し共有しました。最後にスローガンを決定しました。西岳らしくぼちぼちできることをやっていきましょう！



地区社協のあゆみ①（設立年月日、活動の経緯）

【歴史】

- S57. 3. 25 西岳地区福祉推進委員会として発足
- H11 西岳地区社会福祉協議会
※西岳地区地域ボランティア連絡協議会を解消し西岳地区社会福祉協議会に吸収合併
- H15. 5 西岳地区地域福祉活動計画
「元気いっぱいほんわか西だけ計画」策定
- H25. 4 西岳地区社会福祉協議会忌明け寄付金取扱い開始
- H29 西岳地区地域医療セミナー開始
- H30 にしだけ映画まつり開始
- R 7 中学生対象にした学習支援開始
有償ボランティア事業

【受賞歴】

- H30 年度 都城市社会福祉協議会 会長表彰
- R 元年度 都城市長表彰

【主な事業】

- 福祉なんでも相談窓口の開設（毎週水曜日）
- 西岳地区社会福祉協議会忌明け寄付金取扱い事業
- 夏休みのびのびスクール
- にしだけ映画まつり
- 地域医療セミナー
- ふれあい訪問
- 料理教室
- 健康セミナー
- オムツ配布事業（西岳地区社協独自によるもの）
- 有償ボランティア事業
- 広報誌「西岳地区社会福祉だより」の発行

【組織・体制】

会長、副会長、副会長、事務局長、生活支援コーディネーター、顧問、監事

【構成】

自治公民館連絡協議会、民生委員児童委員協議会、都城市元気高齢者クラブ、第2層生活支援コーディネーター

地区社協のあゆみ②（トピック・写真など）

【トピック①】

にしだけ映画まつり



年に1回学校体育館で映画の上映会を実施。ただ映画を見る機会だけではなく、山間部かつ広範囲な西岳地区の住民が映画まつりを通して交流できる場ともなっている。第6回までは福祉にまつわる映画上映を実施していたが、長く続けていくために福祉に拘らず様々な映画を実施していく予定。

【トピック②】

・地域医療セミナー



住民の医療や介護に対する知識向上を目的に、平成29年より実施。医師や専門学校の先生だけでなく、一緒に学生も講師として来ていただき、西岳の地域住民に対して講演を行っている。また、こけない体操の発表会やにしだけ元気もりもり体操の紹介なども行った。

【トピック③】

・のびのびスクール



夏休みに吉之元小、西岳小、夏尾小各校で小学生向けに体験型の学習支援を実施。そうめん流し、折り紙教室、お菓子づくり教室など毎年実施内容は変更して行っている。地域の方が講師として子供たちに教えるなど世代間交流にもなっている。

創造の道すじ ～笑顔と安心を生み出す「好循環（サイクル）」～

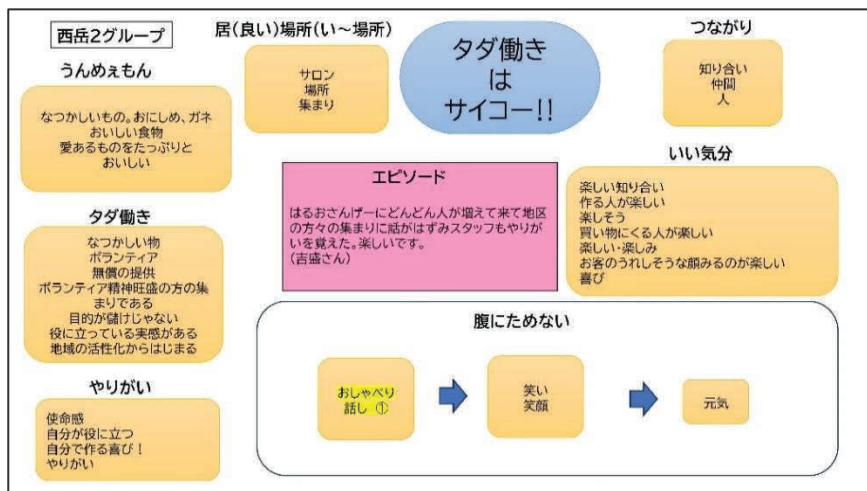
第5次地域福祉活動計画を策定するにあたり、全15地区で現状の「課題・願望」と未来への「想い」をシートに書き出しました。そこには現場のリアルな熱い想いが詰まっています。

1. 地区の全体スローガン：これから5年間の目指す地区全体の指針とは？

⇒第5回策定委員会（最終回）では、地区全体のスローガンを決めました。

2. 行動指針：地域での活動や取り組みを導く大事な価値観とは？

⇒第1回～2回策定委員会では、「最もすごいチェンジ」を出し合いました



◆第5次都城市地域福祉活動計画「西岳地区地域福祉活動計画シート」(抜粋)

地区全体スローガン	行動指針	活動・事業
<p>西岳1チーム！ お互いさまで、 ほっこり にっこり ～ぼちぼち やっちみろかい～</p>	<p>地域の人と声を掛け合い、みんなが楽しく集まれる居場所を作ろう</p>	<p>にしだけ映画まつり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画を通して、地域の集まりの場・交流の場づくりをする事を目的

これまでの活動を整理し、未来へ向かってどう進んでいくか、「その道すじ（ロジック）」を解説します。

3. 実現に向けて必要なこと：その価値観を大事に、実現に向けて必要なことは？

⇒第3回～4回策定委員会では、「これから取り組むこと」「何が整えば実現できるか」を話し合いました。

【入り口（楽しさ・共感）：人が集まる】

多世代・笑顔・わくわく・サロン・顔見知りを増やす・参加へのハードルを下げる

↓ ここから信頼が生まれる ↓

【深まり（信頼・支え合い）：相談できる】

ちょっとした困りごと・キャッチ・見守り・楽しい場でできた関係性から

↓ これが安心をつくる ↓

【土 台（持続可能な仕組み）：無理なく続ける】

拠点・IT・自主財源

新「地区社協」創造への道すじ

実現に向けて必要なこと

これから取り組むこと

- 【様々な芸術・芸能に出会える場を作る】
 - ・映画は引き続き上映会の実施を継続。それに付随して、音楽や芸能を楽しめる場を作る。
 - ・オープニングアクトとして、学生などボランティアで演奏や演舞等をしてくれる人をお呼びする。
 - ・有名人、芸能人をお呼びして講演会を行う
 - ・子どもが喜ぶようにゲーマーなどのゲームが上手い人に来てもらう
- 【衣類の販売会場を併設する】
 - ・長遊園とつながりのある衣服屋の協力を得て、公民館等で、衣服の販売会を実施する。

何が整えば実現できるか

- 【組織体制】
 - ・パフォーマーゲストの選定
 - ・学生でスポーツや音楽をしている人
 - ・ゲーマー（高校eスポーツ部など）
 - ・漫才・お笑い・タレント講演会
- 【財源】
 - ・赤い羽根共同募金と映画祭チケット収入
- 【事務局機能】
 - ・住民の皆さんに映画以外にどんなものを見てみたいかアンケートを取る
 - ・地区社協で会議の上、出演者を決める。
 - ・販売会については、長遊園とも連携。
- 【拠点】
 - ・小中学校体育館だけでなく、公民館なども活用する
 - ・夏尾でもなにか催しが出来ないかを検討する

目指す地区社協像

※これ以降を参照

第5次都城市地域福祉活動計画の体系図

第5次都城市地域福祉活動計画 全体スローガン

笑顔でつながり 未来を綾なす 新しい地域

新「地区社協」創造

3つの行動原則

1. 「ゴール」を目指す姿 笑顔が集まる、誰もが主役になれる居場所をつくる
2. 「エンジン」推進力 多様な力とつながり、広がる共感で地域を動かす
3. 「ベース基盤」 小さな「困った」を見逃さず、無理なく支える仕組みをつくる

実現のための4つの創造

1. 組織体制：「固定化」から「チーム戦」へ
2. 財源：「依存」から「稼ぐ力・応援される力」へ
3. 事務局機能：「事務処理」から「つなぎ役」へ
4. 拠点：「会議室」から「あたたかい居場所」へ

15地区地域福祉活動計画

姫 城／「優気」をもってふれあって学びあってつながろう 姫城の宝たち ～姫 LOVE 増殖中！～

妻ヶ丘／笑顔で声かけ 未来へつなぐ 妻ヶ丘

小松原／世代をこえて 笑顔でつながる 小松原

祝 吉／未来につなぐ笑顔のまち祝吉 ～ありがとうをいっぱい咲かせよう～

五十市／誰もが まんなか 活気あふれる いそいち

横 市／みんながつながる横一愛

沖 水／ささえ愛 笑顔でつながる 沖水の和

志和池／みんなの笑顔でつながる未来へ ～ほっぶ すてっぶ 志和（しゅわ）っ池（ち）！～

庄 内／地域を愛し、お互いさまの心でみんなが支え合うまち・庄内

西 岳／西岳1チーム お互いさまで、ほっこりにっこり～ぼちぼちやってみろかい～

中 郷／みんな元気 笑顔あふれる なかんごう ～こども・未来・絆～

山之口／すべての住民が、いつまでも住み慣れた地域で豊かに生きがいを持って生活するために

高 城／未来へつながる ほっこり思いやりのまち高城

山 田／ふれあい、ささえあい、つながりあう 福祉のまちづくり

高 崎／支えあい未来につながる★きりり★高崎

都城市社協経営基盤強化計画

1. 組織・人材

2. 財政

3. 事業

4. 拠点

MSCのエピソード

○活動を通じて地域でおこった変化「良かったこと」「うれしかったこと」

※Most Significant Change (MSC) ≡ 「最もすごいチェンジ」



子ども達が増えて
運動会がにぎやかになった



はるおさんげえにどんどん
人が増えて来て地区の方々の
集まりに話がはずみスタ
ッフもやりがいを感じた。
楽しいです。



コロナで「できない」時期が
あったおかげで集まったり、
飲んかたをしたりする時間の
大切さが見直された

ほかにもこんな素敵なエピソードがありました！

- 子供達とのかかわりが多くなり笑顔と明るいあいさつを受ける事。
- 「西岳にこんなに人がいたの?!」と文化祭で言われた。地区内外の人の協力。
- 5年で園児が20名から40名に増加。そして卒園児も夏休み、冬休みに児童クラブで市街地から何人もやってきます。西岳の自然や人の温かさを求めてやってきています。
- 学校との関係が深くなった。
- 文化祭でたくさんの方が参加してくれるようになった!!
- 長遊園のデイサービスを開設。もっと地域サポート。健康に!!
- 一人暮らしの人が訪問すると喜んでくれて笑顔がみられてうれしい。
- たえまなく公民館に来ていただく人間関係。
- 共同墓地の清掃にあらゆる世代の皆さんが集まってくださるようになった!!
- 誰々さんのためにこけないしてます。地域で見守っている。ほっとかない関係。あたたかい。
- 4年前TV取材を受けたこと。(篠田さん)
- 中学生と年2回グランドゴルフを楽しんでいる。中学生との交流ができている。

行動指針	現状	これから取り組むこと (令和8年度～令和12年度)
<p>◆行動指針 話しやすい空気をつくり、 相談者が相談にきやすい環 境を作ろう</p>	<p>① <u>ふくしなんでも</u> 相談 毎週水曜日の10: 00～15:00に地区 社協の部屋で相談 を受付中</p>	<p>【”なんでも”相談のハードルを下げる】 ・有償Vo活動中や茶飲み場感覚で雑談で来られるように名称の変更も考える</p> <p>【相談室の存在をもっと知ってもらう】 ・広報紙などで、「何が相談できるのか？」相談できる具体的な内容を住民にしらせる</p> <p>【相談を受けられる人を増やす】 ・事務局長以外も相談を受け入れられるように役員体制を構築する。 ・地域の井戸端会議で活躍できる「傾聴ボランティア」を育成する</p>
<p>◆行動指針 西岳で長く元気で楽しく過 ごすために、楽しく学び合 える研修をしよう</p>	<p>② <u>地域医療セミナー</u> (年1回) 住民の医療や介護 に対する知識向上 を目的とした研修 を実施。研修の前 に、体操の発表な ども行ってきた</p>	<p>【西岳のわが家で元気で健康に暮らしていくための情報の提供】 ・自宅で受けられるサービスや制度を知るための研修の実施 ・病気や健康について元気に笑いながら学べる研修の実施 ・体を動かしながら学べる研修の実施</p>
<p>◆行動指針 学校や地域団体と協力し、 温かい訪問の輪を続けよう</p>	<p>③ <u>ふれあい訪問</u> ・1年に1回、8 0歳以上の高齢者 宅を対象に民生委 員が見舞品(カッ プ麺やレトルトカ レー等)を持って 訪問。 吉之元地区につい ては、吉之元小学 校の生徒も一緒に 訪問する。</p>	<p>【手作り弁当の配布によるふれあいの確保】 ・はるおさんげえメンバーに手作り弁当を作ってもらい、配布する</p> <p>【子ども達の力を借りる】 ・まずは、福祉教育などで子ども達に民生委員の仕事を知ってもらう。 ・子どもたちも「子ども民生委員」として、物品配布の際に協力してもらえる体制を、西岳・吉之元・夏尾でそれぞれ作る。</p>

お互いさまで、ほっこりにっこり～ぼちぼちやってみろかい～

<p style="text-align: center;">実現するために必要なこと ①組織体制、②財源、③事務局機能、④拠点</p>	<p style="text-align: center;">目指す地区社協像</p>
<p>【組織体制】 ・地区社協の役員、傾聴ボランティア</p> <p>【財源】 ・国庫補助金</p> <p>【事務局機能】 ・相談を受けられる役員をふやす ・各公民館、集まり単位で活動してくれる傾聴ボランティアを育成しそこから相談をひろう体制づくり</p> <p>【拠点】 ・現在の相談室、地域の集まり場、はるおさんげえ</p>	<p>①組織体制:「固定化」から「チーム戦」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人脈を活かし、幅広い人に声掛けしながら年齢層の厚い組織体制にする ・地区社協担当者の増員 ・学校関係者の役員・理事参入
<p>【組織体制】 ・以下の人材を地区社協役員で調整していく ・在宅で受けられるサービスや制度を教えてくれる人 ・(認知症の話など) 病気や健康について教えてくれる人 ・体操や運動について詳しく教えてくれる人</p> <p>【財源】 ・国庫補助金</p> <p>【事務局機能】 ・堅苦しい研修ではなく、楽しいことや体を動かして学ぶ機会を作る</p> <p>【拠点】 ・地区公民館のクラブハウス ・夏尾、御池方面の方も参加しやすい場所を選定する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関とつながりのある地域 ・専用事務室の確保 ・有給職員の雇用 ・法人格の取得 (NPO法人、一般社団法人等) ・策定委員会のメンバーを構成メンバーにする ・有償ボランティアの拡大
<p>【組織体制】 ・地区社協役員、はるおさんげえメンバー、西岳の子供たち</p> <p>【財源】 ・にしだけ映画まつりの売上金などから材料費を負担</p> <p>【事務局機能】 ・はるおさんげえメンバー対象者の情報提供 ・「こども民生委員制度の創設」楽しみながら訪問できるスタンプラリーの実施。 ・高齢者が気を使わないよう「『お返しは不要』というルールの周知・徹底」を追記。</p> <p>【拠点】 ・はるおさんげえ ・各学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業の参画 ・動きやすいポストづくり

行動指針	現状	これから取り組むこと (令和8年度～令和12年度)
<p>◆行動指針 困り事を抱える人を知らんぷりせず、出来る人がやれることで無理なくボランティア出来る環境を作ろう</p>	<p>④ <u>有償ボランティア(作業・運転)</u> ・高齢で自宅の庭の草刈りや車の運転が出来ない方の手助けを低額の有償ボランティアとして住民が行う互助サービス。</p>	<p>【支え手を増やし無理なく活動できる環境の構築】 ・有償ボランティア活動者を各地区で見つける。 ・各地区(地区公民館単位)でボランティアコーディネーターを置き、事務局の負担が軽減するようにしていく。</p> <p>【わかば保育園の車両等を活用させてもらう取り組みの実施】 ・わかば保育園との調整と仕組みづくりを行う。</p> <p>○中学生にも少額でボランティアに協力してもらえ体制づくり ・中学生による有償ボランティアのルール作りと調整を行う。 ・中学生によるごみ出し支援(登校時など)</p>
<p>◆行動指針 地域のみんなで顔を合わせて、笑い合える場を大切にしよう</p>	<p>⑤ <u>いたっみる会</u> 11自治公民館の公民館活動に対して、年2回の助成を実施。 1公民館あたり最大25,000円を助成。</p>	<p>【地域の集いの場を活性化させるための発信や情報提供】 ・各公民館がいたっみる会で何をしているのか、地域でしている良い取り組みを各公民館に発信する。 ・地域の中での集いの場だけでなく、地域のみんなで外出できる機会の情報提供も行っていく。</p>
<p>◆行動指針 学びを通して世代をつなぎ、大人も子供もみんな元気になろう</p>	<p>⑥ <u>学習支援</u> Ⅰ.小学生対象 夏休みのびのびスクールの実施 Ⅱ.中学生向け 西岳中学校の学生向けに夏休みに勉強の指導を行う学習支援を実施。 Ⅲ.料理教室 西岳中・夏尾中の学生向けに、家庭科の時間で食改善推進委員と民生委員が料理の指導を行う</p>	<p>【親子参加型の体験型学習支援の実施】 ・子どもだけでなく親も参加できる、親子で為になる学習支援を実施する。(防災キャンプ、消防士、防災士など) ・保護者には、準備からご協力いただくことで、地域との連携を取る。</p> <p>【移住者の協力も得られるようにする】 ・講師として移住者の方の協力も得る。</p> <p>【不登校児童・生徒への支援(学校以外の居場所・学びの場の提供)】 ・不登校の児童が西岳地区にもいるという視点から「防災キャンプ」などを通じてそのような子供たちも参加できる学習支援の場を作る。</p>

<p style="text-align: center;">実現するために必要なこと ①組織体制、②財源、③事務局機能、④拠点</p>	<p style="text-align: center;">目指す地区社協像</p>
<p>【組織体制】 ① 誰がする？【組織体制】 ・各地区のボランティア活動者、わかば保育園の運転手、中学生 ・事務局は調整役になることを目指す</p> <p>【財源】 ・国庫補助金予算 ・忌明け寄付 ・今後、活動をPRして、企業や西岳出身者から寄付を貰えるようにしていきたい</p> <p>【事務局機能】 ・ボランティア登録者への説明会なども実施 ・わかば保育園や中学生との話し合いの場を作る ・依頼者（高齢者）の心理的負担（遠慮・申し訳なさ）を軽減するため有償ボランティアとして運営する</p> <p>【拠点】 ・各地域</p>	<p>②財源：「依存」から「稼ぐ力・応援される力」へ ・法人サポーターの募集 ・協賛企業（スポンサー）の発掘 ・自主財源確保のためのツール開発 ・社協のファンを増やして財源確保 ・サロン等のイベント参加費 ・地区社協の宝くじ（抽選方式の協賛） ・人材を活かした収益事業（演奏、手品） ・物品販売 ・場所、物の貸し出し ・有償サービスの導入 ・忌明け寄付の活用</p>
<p>【組織体制】 ・実施は各自治公民館、情報発信は地区社協から</p> <p>【財源】 ・市社協助成金、各公民館協力金、映画祭収入</p> <p>【事務局機能】 ・報告書の様式を再検討 ・各地区の活動を地区社協だよりなどを通して発信 ・地区社協活動周知の方法として、会の中で「地域活動（有償ボラ等）の紹介動画・CMの上映」を行うことを追記。</p> <p>【拠点】 ・各地区の自治公民館 ・公民館単位で外出した際の外出先</p>	
<p>【組織体制】 ・地区社協役員が調整役 ・小中学生及び保護者 ・移住者</p> <p>【財源】 ・まち協からいただく補助金</p> <p>【事務局機能】 ・多くの親子に参加してもらうため、参観日の後や土日等親が参加しやすい日に設定→学校との連携も重要</p> <p>【拠点】 ・地区公民館、西岳の自然を生かせる場</p>	

行動指針	現状	これから取り組むこと (令和8年度～令和12年度)
<p>◆行動指針 地域の人と声を掛け合い、 みんなが楽しく集まれる居 場所を作ろう</p>	<p>⑦にしだけ映画ま つり 年に1回学校体育 館で映画の上映会 を実施。 映画を通して、地 域の集まりの場・ 交流の場づくりを する事を目的とし ている。</p>	<p>【様々な芸術・芸能に出会える場を作る】 ・映画は引き続き上映会の実施を継続。そ れに付属して、音楽や芸能を楽しめる場を 作る。 ・オープニングアクトとして、学生などボ ランティアで演奏や演舞等をしてくれる人 をお呼びする。 ・有名人、芸能人をお呼びして講演会を行 う ・子どもが喜ぶようにゲーマーなどのゲー ムが上手い人に来てもらう</p> <p>【衣類の販売会場を併設する】 ・長遊園とつながりのある衣服屋の協力を 得て、公民館等で、衣服の販売会を実施 する。</p>
<p>◆行動指針 様々な人とふれあいなが ら、おいしい料理を自分で 作る喜びを知ろう</p>	<p>⑧料理教室 元々は西岳で暮ら す男性の家事能力 向上を目的に「男 性料理教室」とし て実施。 男性のみの実施で は、年々人が集ま らなくなった事か ら男性に拘らず実 施するようになる。 現在は、人が 集まりやすい公民 館（折田代や高 野）で年1回実 施。</p>	<p>【パン作り・ピザ作り教室を開催する】 ・パンやピザが作れる、日常とは異なる （家ではあまりしない）料理が出来る料理 教室を開催する。 ・パンはフライパンなどで簡単に作れて家 でも自分で作れる簡単なパンを作る。（米粉 も活用） ・併せておいしいお茶やコーヒーの淹れ方 講座も開催し、ゆっくり交流できる場にし ていく。</p>
<p>◆行動指針 西岳地区社協の良さをいろ んな人に広く伝えよう</p>	<p>⑨広報紙発行 <u>年1～2回程度、地 区社協の取り組み を紹介するたより を発行し、回覧で 配布。</u> <u>忌明け寄付者の名 簿も掲載する。</u></p>	<p>○広報紙面を工夫する ・写真がメインの広報紙面にする。「なん でも相談」が実施していることをもう少し大 きくPRする。</p> <p>○地区社協 LINE を開設する ・地区社協のLINEを作り、LINEから広報紙 を送ったり、行っている事業やお知らせを タイムリーに発信できるようにする。</p> <p>○LINE 講座を各自治公民館で開催する ・LINEの使い方が分からない住民さん向け に、LINEの使い方を教える講座を実施す る。利用意欲が向上するよう「孫とテレビ 電話ができる！」などの楽しみを伝え、最 終的には地区社協のLINEも登録してもら う。</p>

<p style="text-align: center;">実現するために必要なこと</p> <p style="text-align: center;">①組織体制、②財源、③事務局機能、④拠点</p>	<p style="text-align: center;">目指す地区社協像</p>
<p>【組織体制】 パフォーマーゲストの選定 ・学生でスポーツや音楽をしている人 ・ゲーマー（高校 e スポーツ部など） ・漫才・お笑い ・タレント講演会</p> <p>【財源】 ・赤い羽根共同募金と映画祭チケット収入</p> <p>【事務局機能】 ・住民の皆さんに映画以外にどんなものを見てみたいかアンケートを取る ・地区社協で会議の上、出演者を決める。 ・販売会については、長遊園とも連携。</p> <p>【拠点】 ・小中学校体育館だけでなく、公民館なども活用する ・夏尾でもなにか催しが出来ないかを検討する</p>	<p>③事務局機能：「事務局処理」から「つなぎ役」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局員の配置 ・相談窓口の多機能化（専門相談会、サロン実施） ・週5日開設 ・地区社協にボランティアコーディネーターの配置 ・地区担当2人体制 ・ICTの活用（報告書類の簡略化、デジタル化）
<p>【組織体制】 ・講師として、桜美学園の調理科や長遊園の管理栄養士に依頼</p> <p>【財源】 ・まち協からいただく助成金</p> <p>【事務局機能】 ・自治公民館から募ってもらう</p> <p>【拠点】 ・最初は地区公民館で開催。その後、各自治公民館でも広げていく。 ・学校を借りるのも良い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな事業で企業とコラボ <p>④拠点：「会議室」から「あたたかい居場所」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用机を地区公民館内に配置する ・子どもの居場所の開設 ・空き家・空き教室を活用した居場所づくり
<p>【組織体制】 ・地区社協で作成。LINE 講座の講師は、携帯会社の人への依頼なども検討。</p> <p>【財源】 ・国庫補助予算から支出</p> <p>【事務局機能】 ・紙面での発行回数は年2回くらい。 ・LINE は都度配信。LINE 講座は、公民館長と調整</p> <p>【拠点】 ・LINE の勉強会は、各地区の自治公民館等で開催。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1地区に複数（2つ以上）の拠点化 ・小学校区でのミニサテライト ・なんでも相談室を雑談室に

地区の風景



霧島山と桜



西岳の田園

策定委員会名簿（所属は委嘱日である令和7年7月31日時点）

◎策定委員長／野間 登志子 ○副委員長／山下 輝義

No.	氏名	所属
1	古江 健一	西岳地区社会福祉協議会 会長
2	篠田 健一	西岳地区社会福祉協議会 副会長
3	蔵満 都美子	西岳地区社会福祉協議会 副会長
4	山下 輝義	西岳地区社会福祉協議会 事務局長
5	吉盛 ノリ子	西岳地区社会福祉協議会 生活支援コーディネーター
6	野間 登志子	西岳地区自治公民館連絡協議会 副会長
7	大村 和男	西岳地区自治公民館連絡協議会 事務局
8	大村 由美子	西岳地区民生委員児童委員協議会 副会長
9	白鳥 ふき子	西岳地区民生委員児童委員協議会 副会長
10	安田 千賀子	都城市志和池・庄内・西岳地区地域包括支援センター
11	森本 日良雄	社会福祉法人 莞爾会 長遊園 施設長
12	江田 政聡	社会福祉法人エンゼル会 わかば森のこども園 園長
13	吉川 正智	西岳地区まちづくり協議会 青少年育成部会 部会長
14	岩満 良樹	西岳地区まちづくり協議会 健康福祉部会 副部会長
15	児玉 広智	西岳地区まちづくり協議会 事務局
16	重信 洋	西岳小学校 PTA